

町村協会だより 38 (空知支庁管内長沼町)

会員のため魅力ある事業を計画する

第三十六回目として紹介します協会は、空知支庁管内の最南部に位置し、千歳川と夕張川などに挟まれ道内でも有数の米どころとしても知られる町の長沼町身体障害者福祉協会（高瀬定和会長）です。

同協会は、昭和二十八年に数人の傷痍軍人の方々が中心となり、障害者の生活安定と、福祉の増進を図ることを目的として設立されました。

設立当初は、町内各地区で百六十三ミリ映画会や輓馬競走会場で自転車等の預か



空知支庁管内身体障害者福祉大会

りなどを行ない自己資金としていました。また、平成十五年八月には創立五十周年を迎え、記念式典が盛大に開催されました。現在の会員数は二百二十二名となっており、役員及び執行体制は高瀬会長を筆頭に、副会長三名、理事十一名、監事二名の計十七名で構成されており、その他に支部長が三十六名おります。

主な年間行事及び活動内容

- *総会、役員会等の開催
- ・総会、理事会、監事会、役員支部長合同会議
- *各種大会への参加



北海道ゲートボール大会で準優勝

加

- ・空知支庁管内身体障害者福祉大会
- ・全道身体障害者福祉大会
- ・空知支庁管内身体障害者ゲートボール大会

- ・北海道ゲートボール大会
- ・北海道冬季スポーツ大会
- ・長沼町福祉運動会

- ・視察研修の実施
- ・道内研修視察
- ・日帰研修視察

長沼町身体障害者福祉協会PR

同協会は、主に会員の親睦を図る事を目的として活動を進め、各種事業を展開しております。

しかし、会員の高齢化により年々参加人数は減少傾向にあるた



長沼町福祉運動会参加の皆さん

め、試行錯誤をし内容を検討しておりますが、参加者増には繋がらないのが現状です。そのようなか、昨年は北海道ゲートボール大会で準優勝という成績を収めました。

会員数については、個人情報保護法施行後も身障手帳交付時に行政窓口において同意を頂けた方に対し、同協会に氏名などの通知があり、その方がお住まいの地区の支部長から加入のお願いをしているため、現在では会員数減とはなっておりません。今後は、若い会員の加入促進と、

現会員のニーズをいち早く把握し、参加しやすい魅力ある事業を展開してまいります。



道内研修視察 (富良野市)